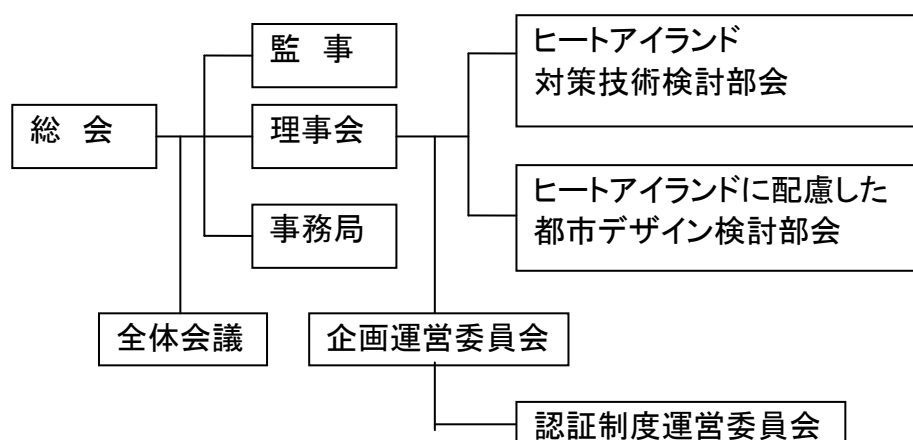


平成25年度事業報告について

1. 組織



2. 役員構成(平成26年4月1日時点)

理事長	水野 稔(大阪大学名誉教授)
副理事長	野邑 奉弘(大阪市立大学名誉教授)
理事	森山 正和(摂南大学教授)
	池上 俊郎(京都市立芸術大学名誉教授)
	井上 祐一(関西電力株式会社 環境室長)
	桑原 千香(大阪ガス株式会社 CSR・環境部長)
監事	勝又 章(大阪府環境農林水産部みどり・都市環境室長)
	高野 修一(大阪市環境局環境施策部長)

3. 活動実績

(1) 総会・理事会等の開催

企画運営委員会(平成 25 年 5 月 9 日)、理事会(同 6 月 7 日)、総会(同 6 月 7 日)を開催し、理事会及び総会では、平成 24 年度事業報告、同収支決算、平成 25 年度事業計画・予算計画、理事の再任について議論し、承認を得た。

また、企画運営委員会(平成 26 年 1 月 22 日)を開催し、検討部会の進捗状況及び事務局の一部事務の委託先変更について議論した。その後、臨時理事会(平成 26 年 3 月 20 日)を開催し、事務局の一部事務の委託先変更について承認を得た。

(2) 啓発セミナー等の開催

ヒートアイランド対策技術に関するセミナー、ヒートアイランド対策技術認証制度のセミナー等を開催した。

○ヒートアイランド対策技術公開セミナー(平成 25 年 6 月 7 日)

<内 容>

H24 年度大阪クールスポット 100 選と暑熱環境適応策への展開

鍋島 美奈子(大阪市立大学大学院准教授)

クールスポット創造技術について

北宅 善昭(大阪府立大学大学院教授)

<参加者>

名34名

○ヒートアイランド対策技術認証制度セミナー(平成 25 年 9 月 13 日)

<内 容>

認証技術の普及に向けて

柴田 悦朗(大阪府)、田端 晋平(大阪市)

遮熱塗料の普及と認証制度のあり方

萩原 晴夫(サンホームサービス株)

遮熱性舗装ブロック「ランドサーマス」

津郷 俊二(日本興業株)

認証制度の普及促進について

野邑 奉弘(認証制度運営委員会委員長)

ヒートアイランド現象に対する適応策モデル事業について

山根 正慎(環境省)

<参加者>

各35名

(3) 検討部会(ワーキンググループ)の開催

素材関連、熱有効活用・人工排熱低減、クールスポット創造技術手法、熱負荷評価手法、都市デザインの各ワーキンググループを開催し、ヒートアイランド対策技術の評価・普及等について検討した。

【素材関連WG】

保水性舗装及び外断熱の評価基準等について、認証制度運営委員会からの意見等の報告と内容修正についての意見交換を行った。また、高反射材料の汚染促進試験方法の検討及び意見交換を行った。

○第 28 回会合：平成 25 年 4 月 30 日

<内容>

- ① 外断熱SWGの認証基準(案)について
- ② 保水性舗装SWGの認証基準(案)について
- ③ 平成 25 年度素材関連WG事業計画(案)について

○第 29 回会合：平成 25 年 11 月 15 日

<内容>

- ① 外断熱SWGの認証基準について
- ② 保水性舗装SWGの認証基準(案)進捗状況について
- ③ 新SWG(高反射材料の汚染促進試験方法SWG)の設立について
- ④ 新素材の情報提供(ウィンドウフィルム)

【熱有効活用・人工排熱低減WG】

人口排熱削減対策における大気熱負荷削減効果の認証方法並びに推奨方法について、調査及び検討を行った。また、熱有効活用・人口排熱低減に関する情報収集・調査、検討、及び広報を行った。

○第 25 回会合：平成 25 年 5 月 30 日

<内容>

- ① 紹介「外気温度別室内機の負荷率の分析及び温度別の負荷率における評価」
- ② 紹介「蒸気圧縮式空冷空調機のシミュレーション手法を用いた空調排熱量の評価手法について」
- ③ 「熱有効活用・人工排熱低減WG」における認証制度策定に向けた、内容と方法について議論

○第 26 回会合：平成 25 年 10 月 11 日

<内容>

- ① 紹介「室外機フィンへのスケール付着に関して」
- ② 紹介「『ヒーポンらぼ』で実施している空調室外機への水噴霧試験(第 2 報)について」
- ③ 紹介「『空調システムからの排熱低減量の認証(案)』について」
- ④ 「熱有効活用・人工排熱低減WG」における認証制度策定に向けた、内容と方法について議論

○第 27 回会合：平成 25 年 12 月 16 日

<内容>

- ① 「熱有効活用・人工排熱低減WG」における認証制度策定に向けた、内容と方法について議論

○第 28 回会合：平成 26 年 3 月 20 日

<内容>

- ① 紹介「空冷式熱交換器のミスト冷却におけるスケール付着の抑制法に関する研究 ―エリミネータを用いた吸込み空気中の未蒸発ミスト分離―」
- ② 紹介「空調室外機への散水による潜熱比率について」
- ③ 「熱有効活用・人工排熱低減WG」における推奨制度策定に向けた、内容と方法について議論

【クールスポット創造技術手法WG】

クールスポット創造技術手法WGでは、緑化技術に関する評価項目等の検討、また、水を活用した技術を検討した。

○第16回会合：平成25年12月25日

<内容>

- ① 壁面緑化の効果について
- ② 報告・検討事項について

【熱負荷評価手法WG】

本WGで開発した大気熱負荷削減量や表面温度低下を評価するシミュレーションモデルを活用し、認証申請のあった技術の定量的評価を実施し、申請者に情報提供した。

【都市デザインWG】

ヒートアイランド現象を緩和し魅力ある都市空間を創出する空間デザインと、大阪の夏を涼しく過ごす夢あふれるユニークなアイデアを募集した「第3回ヒートアイランドに配慮したまちづくり・アイデアコンペ」を実施し、応募作品(39作品)の審査の結果、最優秀賞1作品、優秀賞2作品、審査員特別賞2作品を決定した。

さらに、コンペに応募いただいた全作品を展示する作品展、表彰式、記念の公開シンポジウムを開催した。

また、ヒートアイランドに配慮した都市デザインを検討するため、情報交換を行った。

○第18回会合：平成25年6月3日

<内容>

- ① 「第3回ヒートアイランドに配慮したまちづくり・アイデアコンペ」
審査会・表彰式・シンポジウムの検討

○コンペ審査委員会：平成25年8月29日

<内容>

- ① 応募作品39作品を審査した結果、都市デザイン部門から最優秀賞1作品、優秀賞1作品、審査員特別賞1作品、技術アイデア部門から優秀賞1作品、審査員特別賞1作品を選定。

○表彰式：平成25年9月12日

<内容>

- ① コンペ受賞者への賞状、副賞の授与、受賞者による作品紹介

○パネルディスカッション：平成25年9月12日

<内容>

- ① 応募作品についてパネルディスカッションを開催
テーマ：クールスポットから大阪のグランドデザインを考える

○第19回会合：平成26年3月3日

<内容>

これまで実施してきたアイデアコンペの評価に向けた受賞作品の認識共有。

(4) 認証制度運営委員会

認証制度運営委員会にて技術評価実施要領の改正を実施した。また、3件のヒートアイランド技術を認証した。

○第8回会合:平成25年6月18日

<内容>

- ① 認証制度申込み状況について
- ② 高日射反射率塗料の認証について
- ③ 外断熱工法の認証について

○第9回臨時会合:平成25年9月13日

<内容>

- ① 外断熱仕様の認証基準について

○第10回会合:平成26年1月22日

<内容>

- ① 認証制度申込み状況について
- ② 保水性舗装ブロックの認証について
- ③ 外断熱工法の認証について

(5) 部会活動等の周知

【常設展示ブースの出展及び法人会員シーズ紹介】

循環型社会づくりをめざす最新の環境ビジネスを広く紹介する「おおさかATC グリーンエコプラザ」内に常設展示ブースを出展し、PRパネルの展示とパンフレットの配布を行うとともに、月毎に法人会員のシーズ紹介(PRパネルの展示、製品のディスプレイ及びパンフレットの配布)を行った。

▽シーズ紹介法人会員

2013年6月	(株)大高商会
7月	(株)大高商会
8月	(株)大高商会
9月	(株)ツヅキ
10月	(株)ツヅキ
11月	(株)ツヅキ
12月	大阪HITEC
2014年1月	大阪HITEC
2月	太平洋プレコン工業(株)
3月	(一社)日本塗料工業会
4月	(一社)日本塗料工業会
5月	(一社)日本塗料工業会

【大阪 HITEC NEWS の発行】

認証状況やアイデアコンペの実施、検討部会で検討された内容等について周知するため、ニュースレター『大阪 HITEC NEWS Vol. 9』を平成25年12月20日に発行した。

(6) ホームページの拡充

本コンソーシアムの活動成果等について、ホームページを拡充・更新した。

(7) 大阪ヒートアイランド対策技術コンソーシアムPR用リーフレットの配布

普及啓発及び検討部会への参画を促すため、随時リーフレットを配布し、PRを実施した。